

## 「市長との座談会」 市民の皆様からの質問や意見交換などの要約

日 時 令和元年12月22日（日）午後3時から

会 場 中央コミュニティセンター2階大ホール

藤田市長が加茂市行財政健全化推進計画（案）、企画財政課長が資料集（案）を説明し、その後、質問・意見交換を行いました。

（質問・意見） 1）市民バス、路線によっては赤字と聞くが、どの路線が赤字か。

2）美人の湯が年間1億円の赤字。民間との連携とのことで「PPP」と挙げているが、第三セクターとは違うのか。PPPだと収益率が上がるのか。

3）市職員給与1%削減は原因を明らかにしない中で給与減らすのはいかがなものか。

4）上下水道10%値上げは消費増税で家計が圧迫されているし、ライフラインなので上げないでほしい。

5）県央応急診療所、負担金払う道理がない。

（福祉事務所長） 1）赤字、路線ごとの数字は今手元にはないが、赤字なのは間違いない。乗降調査は毎年行っている。調査をベースにして今後検討する。昼間はほとんど（乗客が）いない路線もあれば、新飯田からの路線は朝が多い、というところもある。

（市長） 2）PPP・PFIは第三セクターとは違う。PPPという手法の中にPFIという手法がある。資金も民間から調達し、運営も民間で行う、という手法。他にも色々な手法があるので、美人の湯に合う手法を探している。

3）まだ組合に提案する段階だが、人件費の話はおっしゃる通り。私の中でも安易にやるべきではないと思っている。ただ、それだけ厳しい財政状況ということ。

責任の所在については特定の大きな事業の失敗ではなく、収支のバランスの不均衡をそのままにして、足りない分、基金を取り崩して進めてきたため。

5）応急診療所は先日の座談会でも話したが、負担金を負担してほしいという市民もいる。選挙の公約で負担するとして当選したので、ここは公約を果たしたい。支払う方法は案を構成市町村へ示している。

（副市長） 4）今まで水道の敷設管の更新を、しなければならぬ部分を財政が厳しいという理由で行わないでいた。長寿命化を図るためにも、早急に必要な更新のために値上げさせていただきたい。他市町村に比べると10%の値上げ後でもまだ低い方。皆様の痛みの伴うことではあるが、財政健全化のためにご理解いただきたい。

（質問・意見） 1）市民に「こういう加茂市にしたい」というものを示してほしい。健全化はそれから。

2）基金が減少した主な原因をもう少し明らかに。

3）この問題は今出てきたものではなく、もっと前から市職員も考えていたと思う。なぜ今こんなに多く出されてきたのか。10年前に提起されていてもおかしくない。市当局と議会の責任は重いと思う。

（市長） 1）本来はそうだが、先行して行ったのはそれだけ厳しい財政状況だったから。今年度赤字に

なるかどうかという、財源確保が必要な状況だった。今後のことについては予算査定、3月議会の施政方針演説、総合計画ではっきり示す。基本は公約のとおり、教育、子育てなど加茂市に人が集うような街にしていこうということ。でもそれでは大雑把過ぎるので、もっと詳細にしたものを今後その頃に示す。また、財源の根拠なく大きく示すのは違うと考えているので、収支見通しをはっきりさせたかった、という思いもある。

(質問・意見) 3) について、今までの市長ではそういったことが言えない雰囲気だったのかどうか。

(副市長) ご指摘の通りで、今に始まったことではない。前から職員が気づいていたことはいっぱいあった。かつては、市民は「お客様」。安ければ良い、できれば無料が良い、財政的に厳しくなっても通す、と。補助金も下げなかった。基金を取り崩してきた。しかしそれが収支のアンバランスを生んできた。そして今、充てる基金がなくなった、という状況。やはり身の丈に合った財政運営をしていかなければならない。他市町村同様のレベルにしないと財政運営できない。20市中の平均や近隣と同じ手数料にしようということになった。

(質問・意見) それを、今まで市の職員たちは黙ってみていたのか。市長が変わったから良くする。それは理解するが、今まで職員は前の市長に対して何をしていたのか。

(副市長) 私どももそれは悪かったと思っている。なかなかそれ(前市長時代の市長への進言)ができなかったということは、申し訳ない。そのような批判は甘んじて受けたいと思う。

(質問・意見) 1) 施設管理について。七谷調理場は外部委託となるが、同じ加茂の他の子どもたちと異なる水準になるのか。なぜ七谷だけなのか。

2) 令和3年度以降の陸上競技場の公認の更新。公認をとらなくても市や県の大会誘致できるのか。記録が認められなくなるのか。

(総務課長) 1) 七谷調理場が外部委託されても、メニューは学校栄養士が作成する。材料も栄養士が調達する。現場で調理する人が変わるだけ。

今年度、調理員が3名退職するが、他市町村の状況を見ると外部委託の方がお金はかからない。同じ水準で安い方法(外部委託)があったので切り替える、という判断。

(社会教育課長) 更新に見合った投資か、ということ。というのは、次の公認をとるための整備では基準を満たすために何千万円のお金がかかる。また他市町村の競技場は砂ではなくアンツーカー、計測も電気式で加茂での手動の計測とは異なるため、加茂の「競技場だけ」の記録でも仕方がないのではないかと考えている。加茂陸協の内諾はいただいている。

(質問・意見 ※1) 北コミセンを集会場にすることだが、残念ながら道路沿いではないので他の地域の人には縁がないかもしれないが、カラオケの防音機能を持ったもの。

地元の人間にとっては有用なもの。ただの集会場にしたらカギの管理等が面倒になる。地域で管理人を置くことはできないか。

→ ※1 後日、意見・質問者がこの発言を撤回。

(福祉事務所長) 今は誰でも使えることになっている。利用人数の関係で今回の案が出ているが、鍵の管理等方向的には予測できない部分もある。

(市長) 地域の人と話し合いながら考えたい。利用者数が少なかったため検討した。

(質問・意見) 残念ながら、今この会を見渡してみても若者が一人もいない。加茂は子供の人口が減っているが、3つの高校、短大や大学もあって昼間の若者人口は多いはずだが、生かしていないのではないか。また、子どもの人数は減っているが小中学校の数は変わらない。部活動で学区外の学校に行くなど不自由している話も聞く。小中学校の統廃合を検討してはどうか。

若者が住みたい場所、働く場所がもっとあるといい。観光資源も多い。市外からも遊びに来る。イベントと商店街やJ Cなど若者で加茂を盛り上げてほしい。

(市長) この前、高校生と話した際には「商店街の方にはいかない」という声も聞いた。若い人がもっと街の中へ出てこられる仕組みを考えたい。街の魅力をもっと上げたい。小中学校の規模については子どもの数に合った、地域性にあった方法を検討している。

若い人が働ける場所をもっと作って、できれば住んでもらう、ということは今度の予算や総合計画に盛り込む。

(質問・意見) 市議会議員は前市長の政策の何を見ていたのか。職員だけを責められない。職員は議会で決まったことにそって仕事をしていた。18人の議員がいたが、前市長の政策についてちゃんと見てもらいたかった。職員が一所懸命仕事している姿を見ている。議員の人たちは反省してほしい。

(質問・意見) 1) 組織改編について。課長の兼務を減らす配置の考慮をお願いしたい。  
2) 加茂病院。基幹病院の二次病院としての位置づけになるという報道があった。吉田病院は子ども専門の、加茂病院は老人に特化した病院という。医師数の削減はあるのか。

(総務課長) 1) 兼務は減らしていく予定だ。

(健康課長) 2) は加茂病院の病床数が多いまま認可を受けている状況。病床稼働率は半分程度。県は適正な数をとらえている。すぐが変わるということではないが、人口や患者数を勘案して、基幹病院の役割が決まってから。今後県の「医療構想調整会議」が12月28日にある。そこで有識者としては一定の方向性が示される予定だが、これで決まるわけではなく最終的には県の中で議論されて決まる。

(質問・意見) コミセン風呂。市民100円、市外200円と聞いたがなぜか。利用者の中では「なんでそんな事を聞く」と憤慨する人もいる。全員一律でいいのではないか。なぜ差をつけるのか。「ようこそ加茂へ」ということでいいのではないか。

(市長) 市内外で今まで差がなかった。差がなかったためどこから来られたかのチェックもしていなかった。これから差をつける。それは、ここまで赤字になってしまっているということと、市の税金で建てているので、市内外で差がないのはおかしいという市民の声もあった。また、コミセンによっては、須田や下条は市外の利用者が多い。地元の方は使用していないのに市外の人と同じ料金というのはどうか、という声を反映した。

黒字で潤沢であれば市内外同じでも、ということもできるが、コミセンに関しては市内外の差をつけ

た。コミセン以外の他の公共施設については協定を結んで、利用料金を他の市町村と同一にした施設もある。

(福祉事務所長) カードを作るなど、市内外の区別の方法は検討中。

(質問・意見) かも川荘についてはどうなるのか。

(企画財政課長) かも川荘、ゆきつばき荘、老人憩いの家は老人に特化していたり、利用者が限定されていたり、利用者数が少ないため、今回の改定には載せずそのまま。

(質問・意見) 個人の意見だが、コミセン風呂は年齢に関係なく、一律でいい。

(質問・意見) 数年前に加茂に転入してきた。その頃から加茂市の財政を心配していたが、単年度収支黒字化は今までの市政と比べるとすごい進歩。これはぜひ進めてほしい。

今、単年度収支が改善しても、将来負担がまだ残っているという現実を危惧している。

30年後予測を見たとき、人口の減少、生産人口の減少の比率を見たとき、加茂市は県内の過疎の町村と同じ位に減る。税収は格段に下がる。今の改善はやってほしい。

将来負担はなるべく減らしてほしい。耐震化していない小学校が加茂に多い。何年も子どもを預けているが、災害が起こったら小学校がつぶれる。それでもコミセンの風呂を残さなければならないか。理解できない。

小学校の維持管理も適切に行われていない印象。今後、公共施設には莫大な更新をしなければいけないのではないか。長寿命化して持つのか。

将来負担比率は類似団体の倍以上悪い。周りよりも人口が減る。税収が減る。本当に大丈夫か。

この計画で満足せず、長期的な計画を。将来自分の子どもの負担を考えたら、将来に負担を先送りするくらいなら、今県内随一の高負担でも構わない。市税が上がっても構わない。将来を見据えた計画を。

(市長) 将来負担比率は今、122%くらい。歳入に対して負担の比率。低い数字ではない。100%を切っている市町村もある。

耐震化は2/3は終わり、あと1/3残っている。県内他市町村はほぼ100%耐震化が終わっている。加茂市が一番遅れている。校舎の雨漏りやさび水が出る。そういった環境に子どもたちがいるというのは事実。子どもたちの環境を良くしていきたいという思いは同じ。できることから、行財政健全化計画を立ててやっていく。

来年度から策定に入る総合計画には将来人口の推移を含め、水道管もそうだが老朽化の進んだ施設は多いので、廃止が必要なら廃止する。

過去の積み重ねを子供たちに残すことのないようにしていきたい。総合計画をよく見てほしい。

(企画財政課長) 将来負担比率が加茂市は高い、というご指摘はその通り。

平成30年度決算で、121.9%これは20市中13番目。前年は124.3%で20市中14番目。建設事業を最小限にしている関係から、減少傾向にある。

他市に比べて高い要因の1つとして、見込める収入を差し引けるのだが、そこに基金の額を入れられるが加茂市は基金が少ないため、他市に比べて高いと考えている。これからの取り組みでこれは下がると

思われる。

(質問・意見) 中学校武道授業は6種目あるが、それだけ必要なのか。武道の授業というのは、いわゆる武道に伴う礼儀作法や人に対する思いやりとか、種目そのものではなくそういった部分を学ぶものと思っている。地元で負担すればいい。高い費用を出して東京から講師を呼ぶ必要はない。よそはそんなことはしていない。

(教育長) 武道は加茂市の特色ある授業。10年続いてきた。今回の議会の質問にも、見直しの必要性が指摘された。校長会では学習指導要領に基づいて判断してほしいという話だった。

指導要領では、3年生は選択となり、武道でなくてもいい。球技やダンスでもいい。1、2年生は武道が必修。今東京から合気道の講師を呼んでいるが、費用がかかっているのは事実。今後検討する。

(質問・意見) 1) 今冬のボーナス、加茂市で1億8千万円。無担保で職員から市が借りるという案はどうか。半分くらい貸す人は出てくると思う。職員に責任はない。むしろ議員。三条や田上の議員と比べると加茂の議員は態度が悪い。

2) 入札の予定・落札価格が何%だったかを公表してほしい。

(企画財政課長) 市が借入れをする際は法律で決まっているため、自由に借入れをすることはできない。

※質問や意見交換のときに、一部聞き取れなかった部分もありました。ご了承ください。